

誰もが活躍できる社会をめざして



ボッチャをはじめとする障害者スポーツは、もともと障害がある人のために考案されたスポーツでしたが、今では老若男女、障害の有無に関わらず、みんなが一緒に参加できるユニバーサルスポーツとして広がりを見せています。多様性を認め、誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる社会をつかっていくためのヒントを探ってみましょう。

にしわきジュニアボッチャ選手権大会

西脇市内の小中学生やその保護者など約50名が参加。兵庫県ボッチャ協会のみなさんにルールやポイントを教えていただき、チームに分かれてリーグ戦を行いました。「試合に勝つためには戦術が大切だよ!」と教えてもらった子どもたち。年齢や性別、障害の有無をこえ、それぞれのチームで知恵を出し合いながら楽しみました。

ねらい通りにボールを投げるのがとても難しかったです。ボッチャ協会の皆さんはねらい通りにボールを目標に近づけていて、「すごい!」と思いました。
西脇中学校 絹川 敦史さん

ボッチャは誰でも参加できるスポーツです。たくさんの人に体験してもらい、ボッチャの魅力を感じてほしいです。
兵庫県ボッチャ協会 関戸 健太さん



障害がある人も、ボッチャを通じて世界をめざせるようになりました。体験した人の中からボッチャ競技の支援者になる人が出てくれたら嬉しいです。
兵庫県ボッチャ協会 猿橋 孝之さん

障害のある人たちへの理解が深まり、障害のある人もない人も共に活躍できる社会になってほしいと思います。
兵庫県ボッチャ協会 水吉 達也さん

「ボッチャ」って、どんなスポーツ?

重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために、ヨーロッパで考案された球技です。

ジャックボールという白いボールに、赤・青のそれぞれ6球のボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

障害によりボールを投げるができなくても、ランプと呼ばれる道具を使って、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加することができます。

1対1で行う個人戦、2対2で行うペア戦、3対3で行うチーム戦があります。



みんなが楽しめるようにルールを工夫しているんだね!

みなさんは、社会にあるバリア(障害)を知っていますか?

物理的なバリア

階段や歩道の段差、通行を妨げる障害物など誰にでも分かる具体的なバリア



情報のバリア

音声や点字、手話、字幕といった必要な人に分かりやすい案内がないことなど、情報をさえぎるバリア



制度のバリア

障害に対する配慮を欠いた社会のルールなどのバリア



心のバリア

差別や無関心など他人を受け入れない心のバリア



さまざまな違いを受け入れ、助け合いながら競技するところに、ボッチャならではの魅力を発見しました。こうした姿勢は「心のバリア」を取り除くうえでとても重要なことです。ボッチャを通して、心のバリアフリーが広がっていくことを願います。

「出前講座」を行っています

西脇市スポーツ推進委員会では、ボッチャの用具の貸出や出前講座への協力を行っています。学校や地域での学習会でボッチャを体験してみませんか。

【問合せ】西脇市教育委員会 生涯学習課
電話：0795-22-5996

